

マルチGNSSアジアが実施する、アジア・オセアニアGNSS地域ワークショップ（以下AOR）に参加しました。第6回開催となる今年は、10月9日から11日までの3日間にわたりブーケットにて開催されました。アジア・オセアニア地域は準天頂衛星システムをはじめ各国の衛星測位システムが最も利用できる地域であることから、衛星測位の高度な利活用に関心の高い国々がAORに参加、分野ごとの取組みについて意見交換が盛んに行われました。アイサンテクノロジーは、ITS分野における準天頂衛星利用として、昨年度実施した車線認識の実証実験を紹介しました。急激に成長する東南アジア地域では、交通マネジメントは喫緊の課題であり、マルチGNSSによる高度な交通マネジメントへの期待は大きく、当社の発表は、具体的な高精度測位のITS分野における利活用事例として高い評価をいただきました。

また、AOR参加に先立ち、バンコクにて車載による測位データの取得を実施しました。一般的に低緯度地域は電離層活動が活発で、衛星測位に影響を与えられています。今回のデータ取得は、低緯度地域での衛星測位の状況調査と、東南アジア地域における準天頂衛星の効果評価を目的としました。特にITS分野利用を視野に入れ取得した様々な環境下での測位データは、今後の開発に向けた基礎データの一つとして利用いたします。

最後に、アジア・オセアニア地域は地上インフラ設備を多く必要としない衛星測位システムの活用に非常に興味を示しており、既に数多くの取り組みが始まっています。私どもの空間情報技術はより多くの分野に活用できる技術だと強く感じたワークショップでした。

【当日の様子】



AOR会場
The Royal Paradise Hotel & Spa



AORオープニングセッション



走行試験 inバンコク

【免責とお断り・注意事項】

本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。掲載内容により被った損害については、当社は一切の責任を負いかねます。